

台風第19号関連 7水系緊急治水対策プロジェクト

令和元年10月の台風第19号により、甚大な被害が発生した7水系において、国、都県、市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」に着手します。

全体：7水系

■河川における対策 約4,213億円

災害復旧 約 635億円

改良復旧 約3,578億円

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 約1,227億円

■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

■ソフト対策

- ・田んぼダムなどの雨水貯留機能確保
- ・マイ・タイムライン策定推進 等



入間川流域緊急治水対策プロジェクト 約318億円

■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

■ソフト対策

- ・高台整備、広域避難計画の策定 等



多摩川緊急治水対策プロジェクト 約191億円

■ハード対策

- ・河道掘削、堰改築、堤防整備

■ソフト対策

- ・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等



吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト 約267億円

■ハード対策

- ・河道掘削、堤防整備

■ソフト対策

- ・浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等



阿武隈川緊急治水対策プロジェクト 約1,354億円

■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

■ソフト対策

- ・支川に危機管理型水位計及びカメラの設置
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等



久慈川緊急治水対策プロジェクト 約334億円

■ハード対策

- ・河道掘削、堤防整備

■ソフト対策

- ・霞堤等の保全・有効活用 等



那珂川緊急治水対策プロジェクト 約521億円

■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

■ソフト対策

- ・霞堤等の保全・有効活用 等



※今後の調査・検討等により追加・変更がある。